

平成29年度 青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金 実績報告

資料①

NO.	事業名	団体名	事業概要	補助の種類
1	浪岡の子どもたちの詩的感性を「森の息づかい」に向けた事業～森のポエムを書こう・歌おう～	特定非営利活動法人 ういむい未来の里CSO	浪岡地区の小中学生から森をテーマにした詩を募集し、音楽家：谷川賢作氏率いる音楽グループ【DiVa】や地域ミュージシャンに曲をつけてもらい、「森の詩」の曲を完成させた。 また、「玉余魚沢倶楽部の森」でイベントを開催し、音楽グループによる「森の詩」の演奏のほか、入選者による詩の朗読、全国的な書道家による杉板への席上揮毫、浪岡地区の小中学生による合唱を披露した。イベントは市民チャンネルの番組の中で放送され、詩集の刊行や映像をまとめたDVDは学校や関係機関などに配布した。 【実施期間：H29.5.31～H29.12.28】	公共プログラム
2	互いに支えあえる地域づくり	たすけあいたい浪岡 (チーム・フクロウ)	高齢化社会の進行による課題解決を図るため、医療・保健・福祉の問題を幅広く周知することで意識改革を図り、互いにつながり、互いに支えあえる地域をつくる取組として、誰でも集うことができる「みんなの家」で定期的にダンベル体操や脳トレ、野菜づくりなどの交流活動を行った。また、地域住民を対象に、認知症についての講演会や勉強会、交流会等を開催した。 【実施期間：H29.4.1～H30.3.31】	公共プログラム
3	浪岡観光ガイド育成・運営事業	青森市浪岡観光協会	浪岡地区の観光資源を案内する観光ガイドを育成するため、観光ガイド育成講習会を実施した。平成28年度は初級のみ講習会を実施したが、平成29年度は初級と中級の講習会を実施した。 受講者の中から浪岡観光ガイド隊10名を登録し、浪岡城跡で一般来園者に対するガイドの実践も行った。 【実施期間：H29.7.20～H30.3.31】	公共プログラム
4	浪岡北畠氏祖 顕成公入部行列	青森市浪岡商工会	「中世の里」づくりを一層推進し、地域の歴史への興味や、地域意識の醸成、来訪者の増加による経済波及効果を図るため、その端緒となった北畠顕成公の浪岡入部にスボットを当て、顕成公等に扮した隊列に顕成公灯籠(立ねぶた)や稚児行列を加え、あびねす前から浪岡庁舎まで行列を披露した。 【実施期間：H29.7.20～H29.10.31】	公共プログラム
5	浪岡郷土文学賞創設事業 『浪岡娑婆羅(ハサラ)文学賞』	特定非営利活動法人NPO 娑婆羅凡人舎	浪岡地区で文学活動をしている方への情報提供や、文学へ興味を持っている方が勉強できる「浪岡娑婆羅(ハサラ)大学」を開校し、文学や演劇等に精通した佐野史郎氏を特別講師として招き、作品を制作する上で読者に訴えるポイントやテクニックなどに関する勉強会を中世の館で開催した。 また、浪岡にゆかりのある物語の作品を募集し、「浪岡娑婆羅(ハサラ)文学賞」として大賞1作品・準大賞2作品・優良賞5作品を選び、授賞式を行った。授賞作品は、小冊子にし市内外の図書館等に配布した。 【実施期間：H29.7.14～H30.3.31】	公共プログラム
6	雪女コンテスト	特定非営利活動法人NPO 娑婆羅凡人舎	津軽の雪女伝説「シガマの嫁っこ」を題材にし、参加者が雪女に扮してマタギ役と約5分間の掛け合いを行い、演技力や見た目、ユーモアなどを競うコンテストを中世の館で行った。また、エントランスホールで浪岡地区の特産品を販売した。 【実施期間：H29.12.8～H30.3.31】	公共プログラム

7	げんき長生き”北中野” 挑戦（チャレンジ）事業	北中野町内会	北中野住民が、健康に対する意識を高め、健康寿命の長い元気はつらつとした長寿村を目指すため、浪岡北中野ウォークラリーの開催や、健康食文化を定着させるための料理講習会、運動器具を使用した健康運動教室、健康フェスタとして健康チェックを行った。 【実施期間：H29.4.1～H30.3.31】	公共プログラム
8	フクロウの棲む果樹園 環境整備事業	樽沢里地里山を考える会	リンゴの栽培方法は国・県等による補助の関係から、その多くがワイ化栽培へと転化されている。ワイ化栽培は数年で収穫できることもあり普及してきているが、幹が細いことから冬期間はネズミの被害が甚大である。その対策として、毒餌の撒布や忌避剤の撒布のほか、プロテクター等を巻いて防止しているが、薬剤の過剰使用はリンゴ栽培に悪いイメージを与えるとともに、ネズミの個体そのものを減らすことはできない。 このことから、生きたネズミを餌とするフクロウを増やして、ネズミの個体そのものを地域全体で減らし被害を防ぐため、樽沢地区に20基の巣箱を設置したところ、1基ではあるが3羽の雛を確認することができた。 【実施期間：H29.5.23～H30.3.31】	公共プログラム
9	青森市浪岡大杉公民館 開館40周年記念事業	青森市浪岡大杉公民館 管理運営協議会	青森市浪岡大杉公民館は、旧大杉中学校の跡地に昭和52年12月1日に開館し、平成29年12月で開館40周年を迎えた。 当公民館では、節目ごとに足跡を確かめ、地域住民のコミュニティの醸成、社会教育活動の拠点、地域担い手の育成に取り組むため記念事業を行っている。開館40周年記念事業では、記念式典を開催し、「少子高齢化社会における地域コミュニティと公民館についての役割について」をテーマに記念講演を行った。 また、開館40年間の足跡等を収めた記念誌を発行した。 【実施期間：H29.6.15～H30.1.10】	公共プログラム

平成30年度青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金（新規）申請事業
浪岡自治区地域協議会の評価集計結果

資料②

NO.	事業名	申請者名	提出者数	事業内容の評価（回答した委員の平均点）【上段：ビジネス・下段：公共】					
				①挑戦への熱意	②実現性	③事業環境	④事業実施体制	⑤地域経済への波及効果	①～⑤の合計点
				①有効性	自発性	③公益性	④将来性	⑤継続性	
1	Cafe 319（飲食店） 【ビジネスプログラム】	A者	20人	3.55	3.25	3.25	3.15	3.15	16.35
2	思いやりの心を育てる映画上映会 【公共プログラム】	B者	20人	4.25	4.20	3.95	3.85	3.90	20.15
3	納涼夜店祭り 若者を呼び込むプロジェクト 【公共プログラム】	C者	20人	4.40	4.10	3.85	3.75	3.70	19.80
4	浪岡防水害・緑化整備事業 【公共プログラム】	D者	20人	3.45	3.70	3.35	3.20	2.90	16.60
5	放課後ふれあい書道教室 【公共プログラム】	E者	20人	3.30	3.25	3.25	3.35	2.90	16.05
6	浪岡地区ねぶた制作者育成事業 【公共プログラム】	F者	20人	4.50	4.25	4.15	3.85	3.85	20.60
7	吉野田獅子踊保存・伝承事業 【公共プログラム】	G者	20人	4.45	4.55	4.05	4.20	4.00	21.25

【5段階評価】 5点：優れている、4点：やや優れている、3点：ふつう、2点：やや劣る、1点：劣る

平成30年度 青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金 採択事業一覧

資料③

(単位：千円)

No.	申請者	代表者 役職・氏名	事業名	区分	採択実績		事業概要	事業実施期間	事業実施場所	交付 可否
					H28	H29				
1	特定非営利活動法人 ういむい未来の里CSO	理事長 小山内 誠	浪岡の子どもの詩的感性を 「森の息づかい」に向けた事業 ～森のポエムを書こう・歌おう ・カタチにしよう～	公共	○	○	浪岡地区の小中学生から森をテーマにした詩を募集し、歌にするための詩の描き方を学ぶ作詞ワークショップを開催。森の中でイベントを開催し、入選者による詩の朗読のほか、優秀作品に曲をつけた「森の詩」の音楽家による演奏、浪岡地区の小中学生による合唱の披露、書道家による杉板への席上揮毫、詩をイメージしたチェンソーアート作品の制作を行う。詩集やイベントの映像をまとめたDVDは関係者に無料配布する。	4/9～12/31	王余魚沢倶楽部の森 浪岡中央公民館	可
2	たすけあいたい浪岡 (チーム・フクロウ)	会長 石岡 キミエ	互いに支えあえる地域づくり	公共	○	○	困ったときに、助けたり、助けられたりする仕組みづくりとして、誰でも集うことができる「みんなの家」で、定期的にダンベル体操や脳トレ、野菜づくりなどの交流活動を行う。また、地域住民を対象に、講演会や勉強会、交流会等を開催し、地域に合ったあり方を模索していく。	4/1～3/31	みんなの家 (浪岡字東種本) 浪岡中央公民館 浪岡城跡案内所	可
3	青森市浪岡観光協会	会長 山内 一修	浪岡観光ガイド育成・運営事業	公共	○	○	浪岡地区の歴史文化を案内するガイド育成講習会を開催し、講習修了者によるガイド実務を行う。また、ホームページに浪岡地区の観光情報や観光ガイド情報を掲載し、広く周知を図る。	6/1～2/28	浪岡地区史跡 浪岡商工会館 ほか	可
4	特定非営利活動法人 NPO 娑婆羅凡人舎	代表理事 佐藤 道留	浪岡郷土文学賞創設事業 『浪岡娑婆羅(バサラ)文学賞』	公共	○	○	浪岡の魅力や文学という形で後世に残すため、浪岡娑婆羅文学賞を創設。浪岡を題材にした物語を募集し、審査・表彰を行う。優秀作品は作品集にまとめ、公共施設等に配布する。募集に先立ち、作品を制作する技術やポイントを学ぶ浪岡娑婆羅大学を開校する。	5/11～3/31	中世の館 浪岡城跡案内所	可
5	青森市浪岡商工会	会長 一戸 善正	浪岡北畠氏祖 顕成公入部行列	公共	○	○	「中世の里」づくりの一環として、その端緒となった北畠顕成公の浪岡入部にスポットを当て、顕成公等に扮した時代行列が、浪岡駅あびねす前から浪岡庁舎まで練り歩きを行う。行列は、顕成公灯籠(立ちねぶた)及び稚児行列も加わり、3構成により行う。	6/1～11/30	浪岡駅通り	可
6	北中野町内会	会長 伊藤 芳男	げんき長生き”北中野”挑戦 (チャレンジ)事業	公共		○	健康寿命の長い元気はつらつとした長寿村を目指すため、ウォークラリーや料理講習会、健康運動教室、健康フェスタ、健診アップ作戦等を実施し、地域住民の健康に対する意識を高める。また、オリジナルソング(健康踊り付き)の普及活動やキャラクターを創作し、明るく元気な街を発信する。	5/1～3/31	北中野公民館 ほか	可
7	特定非営利活動法人 NPO 娑婆羅凡人舎	代表理事 佐藤 道留	雪女コンテスト	公共		○	津軽の雪女伝説「シガマの嫁っこ」を題材に、参加者が雪女に扮してマタギ役と掛け合いを行う。演技力や見た目、ユーモアなどを競い、審査員と会場の一般審査員が、優秀賞、ユーモア賞、努力賞を決定する。同会場で浪岡地区の特産品や特産物を販売し、地域の活性化を図る。	12/6～3/31	中世の館	可
8	樽沢里地里山を考える会	会長 鳴海 和昭	フクロウの棲む果樹園環境整備事業	公共		○	リンゴ園に甚大な被害を及ぼす野ネズミ駆除対策として、リンゴ園にフクロウの巣箱を設置し、データを収集する。市の鳥・益鳥であるフクロウの増加に役立て、環境に優しいリンゴ栽培とそのブランド化を図り、経済効果に結びつける。	4/10～3/15	野沢公民館 野沢地区果樹園一帯	可
9	田中 妙子	店長 田中 妙子	Cafe 319 (飲食店)	ビジネス			青森市浪岡交流センター「あびねす」内に飲食店を創業し、JR羽羽線の浪岡駅利用者や、連結するバスの利用者、地域住民等に対して、そば、うどん、ランチ、ドリンクなどの飲食を提供する。主に、50代・60代の女性を中心に雇用し、地域の中高年の雇用の場を提供していく。	4/1～	あびねす	可
10	思いやりの心を育てる映画 上映会実行委員会	実行委員長 常田 清彦	思いやりの心を育てる映画上映会	公共			浪岡地区の小中学生を対象に、思いやりをテーマとした映画上映会や、命の授業、小中学生の交流会、キャリア講演会を開催し、児童生徒の感想等を冊子にまとめることにより、子どもたちの命を大切にす心や、夢と志を持ち社会に貢献する態度を養う。	5/10～3/31	浪岡中央公民館 中世の館 浪岡体育館 浪岡地区小中学校	可
11	青森市浪岡商業協同組合	代表理事 倉内 清巳	納涼夜店祭り 若者呼び込むプロジェクト	公共			浴衣着衣の来場者へ商店街で使える商品券の配布と、ダンスイベントの実施により、若者に対する集客を図る。同会場に地場産品販売ブースを設置し、地域商業と地域コミュニティ活性化の多面性を持った事業を実施する。	4/17～9/25	納涼夜店祭り 銀座通り商店会会場	可
12	青森市立浪岡北小学校 PTA	会長 大橋 拓也	浪岡防水害・緑化整備事業	公共			劣化により不要となった花壇の土を活用し、小学生とその保護者たちが地域住民と一緒に消防署員から土のうりについて学ぶ。また、新しく花壇に土を入れ替えることにより、花や植物を再び花壇に植えられる状態とし、花壇づくりを再開させる。	5/1～6/30	浪岡北小学校	可
13	土筆の会	会長 清野 せつ	放課後ふれあい書道教室	公共			小学生から高齢者まで多世代が集える居場所として書道教室を開塾し、書を楽しみながら書道技術を習得するばかりでなく、世代間交流や地域間交流を通じた青少年の健全育成を図り、地域文化の普及や振興の担い手を育成する。	9/4～3/29	浪岡中央公民館	可
14	青森市浪岡ねぶた会	会長 高橋 初彦	浪岡地区ねぶた制作者育成事業	公共			浪岡地区の若者が、ねぶた師の指導を受けながら中型ねぶたを制作し、ねぶた制作に係る技術の習得を図る。また、制作したねぶたは、浪岡地区内外での祭りやイベントなどに活用する。	7/1～3/31	浪岡駅前	可
15	吉野田獅子踊保存会	会長 田中 江美子	吉野田獅子踊保存・伝承事業	公共			昭和27年に組織された吉野田獅子踊保存会は高齢化が進み、演奏者が不在と窮地に立っている。これまで見聞により伝承されていた笛の音を、現存する音源から採譜し、楽譜を完成させる。楽譜を用いて、子どもや大人を対象に講習会を実施し、後継者の育成を図る。	6/15～3/31	吉野田農村センター	可

平成 30 年度青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金

二次募集の実施について

1 趣旨

平成 30 年度青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金については、一次募集で 15 件の交付決定を行ったところであるが、予算に残額が生じたことから二次募集を行うこととする。

2 募集内容

一次募集の交付決定の結果、ビジネスプログラムは採択件数が 1 件であり、交付決定額が予算額に達しなかったことから、二次募集については、ビジネスプログラムのみ予算残額の範囲内で募集する。

ただし、申請者の補助金交付申請額の合計が予算額に達した時点で、申請の受付を終了する。

3 募集方法

- (1) 募集期間 平成 30 年 6 月 29 日（金）～7 月 31 日（火）
- (2) 周知方法 市HPへの掲載、浪岡商工会でのチラシ配布、地域金融機関への協力依頼、町内会への回覧

4 プレゼンテーション（浪岡自治区地域協議会（以下「協議会」という。）の案件として実施）

- (1) 開催日時 平成 30 年 7 月下旬 又は 8 月下旬（申請の受付を終了した段階）
- (2) 開催場所 浪岡庁舎 2 階 大会議室
- (3) 協議会の評価 浪岡事務所総務課へ事業評価シートを提出

5 スケジュール

- ・募集期間 平成 30 年 6 月 29 日（金）～7 月 31 日（火）
- ・プレゼンテーション 平成 30 年 7 月下旬 又は 8 月下旬（申請の受付を終了した段階）
- ・審査員による審査 //
- ・審査会 //
- ・交付決定及び通知 //

あなたの想いをカタチに！

二次
募集

平成 30 年度『中世の里元気チャレンジ活動事業補助金』

浪岡地域を元気にしようとする主体的に取り組む地域団体及び新ビジネスに挑戦する地域に根ざした中小企業者等を応援します。

平成 30 年度『青森市中世の里元気チャレンジ活動事業補助金』事業の申請を受け付けますので、申請する場合、事前連絡のうえ、浪岡事務所総務課（浪岡庁舎 2 階）までお越してください。

**今回の二次募集は、ビジネスプログラムのみでの募集となります。
交付申請額の合計が予算額（※）に達した時点で、申請の受付を終了します。**

※ 交付件数は、2 件程度（上限 300 万円の場合）を予定しています。

補助制度の概要

事業区分	ビジネスプログラム	
概要	「新ビジネス（新たな事業展開又は創業）」に挑戦する浪岡地域の中小企業者等に、初期投資に関する経費を支援	
事業例	○ 現在、野菜・果実小売業を営んでいる中小企業者等が、新たに、「レストラン経営」を展開する場合 ○ 中小企業者等として「レストラン経営」を創業する場合	
対象者	【新事業型】浪岡地域に本店又は営業所等を有する中小企業者等で、地域金融機関から融資を受けて、既存の事業とは異なる事業を展開するかた 【創業型】地域金融機関から融資を受けて、浪岡地域で中小企業者等として創業するかた	
補助 金額	補助率	補助対象経費の 10 分の 10 以内
	上限	年額 300 万円

※ 補助金の交付期間は、1 か年度となります。

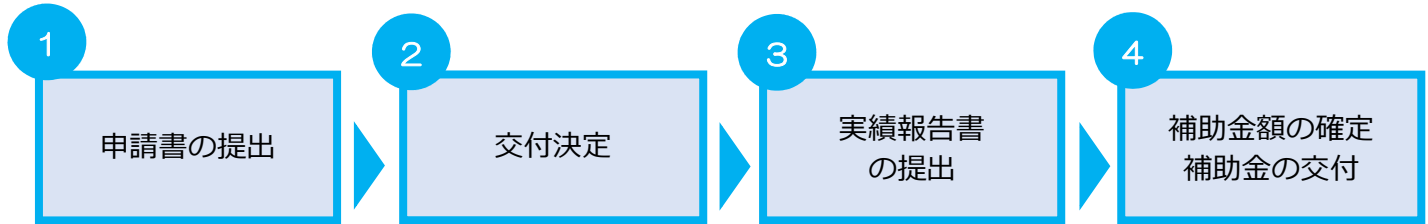
※ 新たな事業展開とは、これまで行ってきた事業とは異なる事業（日本標準産業分類の中分類による。）を展開することをいいます。

※ 地域金融機関とは、青森銀行、みちのく銀行、岩手銀行、秋田銀行、北日本銀行、青い森信用金庫、青森県信用組合（順不同）をいいます。

補助対象経費

設備の取得に要する経費、試作品等の研究開発に要する経費、事務所等の開設に要する経費、創業に要する経費、その他交付対象経費として認められる経費

申請から交付までの流れ



※ 交付決定前に事業に着手する場合は、届出が必要です。

※ 交付申請時における交付決定にあたり、補助金額が変更される場合があります。

審査基準

審査方法は書類審査（必要に応じてヒアリングやプレゼンテーションを行う場合もあります。）とし、次の審査基準に基づき審査し決定します。

【ビジネスプログラム】

審査項目	審査内容
挑戦への熱意	新ビジネスに挑戦しようとする動機や目的が明確かどうか。また、意欲が感じられるかどうか。
実現性	事業計画が全体として具体性があり、かつ矛盾が無く、実現性の高いものとなっているか。
事業環境	市場のニーズや規模、将来性など、事業環境が示されており、実態と照らしてどうか。
事業実施体制	人材、販路、技術など、事業を実施する体制が構築できているかどうか。また、事業継続の見込みがあるかどうか。
地域経済への波及効果	雇用の創出や設備投資、地域資源の活用など、地域経済への波及効果が大きいかどうか。

申請方法

必ず事前にご相談のうえ、募集要項等をよく読み、提出書類一式を【お申込み・お問合せ先】へ持参してください。

地域金融機関から融資を受けて事業化に取り組む事業を対象としているため、申請に当たっては、事前に地域金融機関において、事業計画等についての審査を受けるとともに、提出書類「融資実行に係る意見書」への記載を依頼してください。

募集要項は、浪岡事務所総務課で配布しているほか、青森市ホームページからもダウンロードできます。

申請受付期間

平成30年6月29日（金）から7月31日（火）まで【必着】

※ 交付申請額の合計が予算額（2件程度）に達した時点で、申請の受付を終了します。

<お申込み・お問合せ先> 青森市浪岡事務所総務課 総務チーム
〒038-1392 青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-1 TEL：0172-62-1115 FAX：0172-62-9368